

氏名	山 西 あ さ み
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3247号
学位授与の日付	平成10年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Sequential Changes in the Localization of the Type IV Collagen α Chain in the Infarct Zone: Immunohistochemical Study of Experimental Myocardial Infarction in the Rat (心筋梗塞におけるIV型コラーゲン α 鎖局在の経時的变化: ラット実験心筋梗塞における免疫組織化学染色による 検討)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 菅 弘之 教授 佐野 俊二

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

【緒言】モノクローナル抗体を用いての免疫組織染色法で、ラット実験心筋梗塞の梗塞組織におけるIV型コラーゲンの α 鎖の発現を検討したので報告する。【対象・方法】雄性SDラットを使用した。冠動脈結紮後経時的に解剖した。 α_1 (IV)から α_5 (IV)鎖を認識するラット抗ヒト抗体を使用した。免疫組織化学染色 まず抗原露出を行ってから免疫ペルオキシダーゼ法を採用した。結果は4段階に分類した。【結果】 α_1 (IV)と α_2 (IV)の波状のパターンは梗塞偏縁部に3日目頃に現われ、1～2日で外側部に進んでくる。10日目頃梗塞中心部に達し、4週目で最高になる。 α_3 (IV)、 α_4 (IV)、 α_5 (IV)は経過中見られなかった。【考察】IV型コラーゲンの α_1 鎖と α_2 鎖が梗塞部に出現した。その分布は基底膜に限らず、早期から見られ、梗塞後経時的に変化した。この結果で α_1 鎖と α_2 鎖で構成されるIV型コラーゲンは梗塞後の治癒機転に貢献していることがわかる。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

本研究はラット心筋梗塞モデルを用い梗塞組織におけるIV型コラーゲンの発現を検討したものであるが、従来十分確立されていなかった梗塞後治癒過程におけるIV型コラーゲンの発現様式の関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。